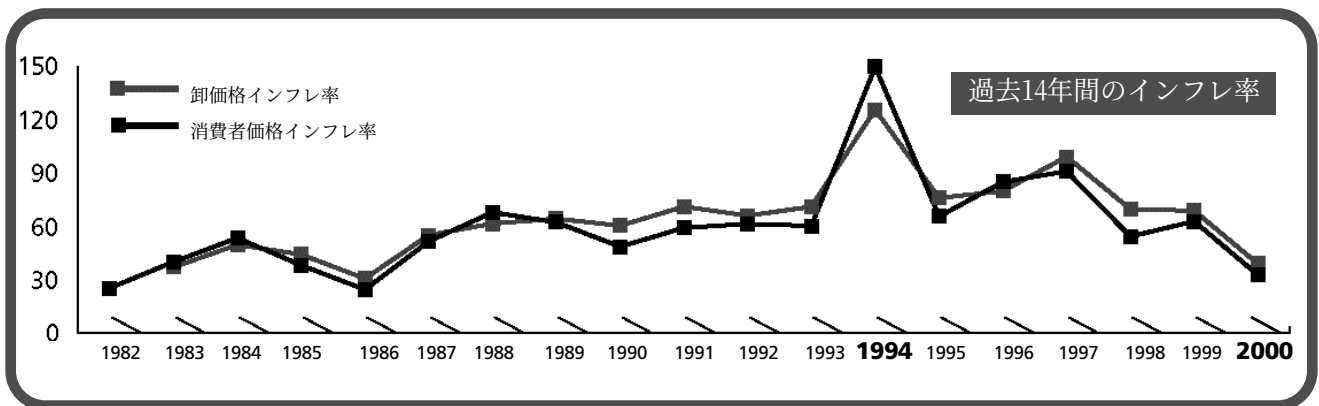


経済

楽観的トルコ経済 「過去14年間の最低記録！」

編集／BBI編集部

2001年12月、トルコは1986年以来最も低いインフレ率を記録した！
ヨーロッパ共同体加盟に向けて、インフレ率の低下を最大課題として取り組んでいるトルコだが……。



参考／ラディカル紙2001年1月4日

トルコ人の生活水準

1999

- *車の所有率 (増)
1000人に63人
- *電話の所有率 (増)
1000人に281台
- *陸路の長さ (増)
60,923km
- *鉄道の長さ (同)
8,682km
- *電気消費量 (増)
1人当り1,417kw/h
- *医者数 (減)
国民799人に対し1人
- *平均寿命 (増)
男性66.8歳
女性71.4歳
- *新生児の死亡率 (減)
36.3%
- *人口増加率 (減)
1.44%
- *人口密度 (増)
83人/1km²
- *国民労働力 (減)
23,356,000TL
- *海外出稼労働者数 (減)
1,206,000人

参考／ビュルリョエツ紙
2000年12月25日

トルコの生活水準は
向上というが……。

貿易庁が発表した一九九九年から二〇〇〇年にかけてのトルコ国民の生活水準

二〇〇〇年の年始め、インフレが消費者価格で六八・九%の時点で、政府は「今年の目標はインフレを二〇%代まで低下させること」と発表したのに対し、世間は「不可能に近い」という反応を見せていたが、国民の予想を裏切り、数字の上では、何とか目標に達した。

二〇〇〇年十一月の金融危機で大きなダメージを受けたトルコだが、十二月には、消費者価格でインフレ率三九%を記録し、何とか一年を締めくくった。これは、一九八六年の二四・五%以来、一四年ぶりに見られた好記録となった。

二〇〇〇年は、インフレ率が毎月徐々に低下。

は表の通りである。

しかし、一方、アンカラ商工会議所会頭スィナン・アイギュンは、二〇〇一年一月からの最低労働賃金が、手取り一億二百万トルコリラ (二〇〇〇年十一月の時点で約一万八千円程度) とされたことにに対し、この金額がOECD (※1) 諸国の中でも最下位に近いことを指摘し、通常四大家族が月に必要な額が六億トルコリラであることから考えると、この最低労働賃金が「恥じるべき金額」であると述べている。

しかし実際、国民の多くがこの最低労働賃金で働いているのはあるが、その人々は飢えているのだろうか？ よく言われているところだが、「トルコ経済の実情は公式数字には表わされていない」という事情がある。トルコ国民はたくましく、飢えることなく、暮らしている。これがトルコの底力なのであるが、実際問題、この状態を解決しなければEC加盟の道も遠いといえる。

※1：経済協力開発機構 Organization for Economic Cooperation and Development